



令和4年度 5月号

和田中だより

多摩市立和田中学校 HP アドレス <http://schit.net/tama/jhwada/>



自己肯定感・自尊感情を伸ばす

校長 伊藤 映二

木々の緑が鮮やかな季節となりました。毎朝、昇降口では、登校した1年生が大きな声で挨拶をしてくれています。2・3年生も負けてはいられませんね。

学校では、今月21日(土)の体育大会に向けて、練習が本格的に始まっています。本校には400名を越える生徒が学校生活を送っています。運動が得意な生徒もいれば、苦手な生徒もいるのは当たり前前のことです。多くの生徒が体育大会を楽しみにしているとともに、「体育大会はちょっとな…」と思っている生徒がいるかもしれません。入試や部活動の大会など、競争相手との比較による成績が重視されることもあります。中学校の多くの活動では、「相手と比べてどうだったか」よりも、「自分の中でどれだけ頑張れたか」が大切です。

日本の若者は、諸外国に比べて自己肯定感や自尊感情が低いと言われています。学校行事は、自己肯定感や自尊感情を伸ばす大きなチャンスです。物事に全力で、精一杯取り組んだからこそ得られる達成感や成就感を感じながら、自分に自信がもてるようになっていくのだと思います。はじめから自信満々の人など、ほんの一握りしかいません。ドキドキし、緊張しながらも「前向きに取り組む」ことが大切です。学年が上がり、新しいクラスで団結する初めての学校行事です。クラスの仲間と喜んだり悔しい思いをしたりしながら、精一杯頑張ったときの達成感や成就感を味わって欲しいと思います。

学校は「失敗」が許される場所です。失敗を恐れてやらないよりも、頑張ったけれど上手くいかなかった反省を次に生かした方が、みなさんの成長につながります。ただし、同じ間違いを何度も繰り返すのはだめですよ。

— 保護者の皆様へ —

和田中学校では、学校行事を自己肯定感や自尊感情を伸ばすチャンスととらえ、生徒の成長を促してまいります。子供たちの話に耳を傾け、励ましの言葉をかけてあげてください。

体育大会の練習に伴い、体操着の洗濯等でご家庭にもご負担をおかけします。また、この時季からは「熱中症」も心配されます。十分な水分補給ができるよう水筒を持たせてください。

東京都の「リバウンド警戒期間」が5月22日まで延長され、多摩市内においても新型コロナウイルス感染症の20代以下の若年層の割合が増加している状況から、感染レベルは「レベル3」を継続することとなりました。学校でも感染症対策を継続していきます。ご家庭での感染予防や Google フォームへの入力を引き続きお願いします。

体育大会の保護者の方の観戦については、今後の感染者数の推移を見ながら判断させていただきます。後日、改めてお知らせしますので、しばらくお待ちください。

和田中学校の4月

令和4年度がスタートして1ヵ月が経ちました。それぞれの学年での新しい生活に対し、期待と不安が入り混じる季節です。力強く歩み出す、和田中生の姿がたくさん見られます。

4/6(水) 始業式



新しいクラスの発表、どんな1年になっていくのかドキドキしながらの登校でした。

4/7(木) 入学式



145名の新入生を迎えました。新入生は緊張しながらも、しっかりした態度で式に臨んでいました。



いただいた祝電は、入学式後も廊下に掲示しました。

専門・中央委員会



自主的に活動する和田中学校の専門・中央委員会が令和4年度の活動を始めました。和田中学校をより良くするために、皆が過ごしやすい学校生活を送るために、工夫を凝らし活動する委員会活動です。本年度の活動にも期待しています。

授業開始



英語の授業。早速、ALT(外国語指導助手)のニコラス先生を交えての授業もありました。



保健体育の授業。笑顔でダンスに取り組む姿がありました。

朝読書



朝読書。8:30~8:40の読書から、和田中の一日は始まります。